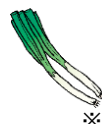


水稲と施設園芸の複合経営 需要に応じた高収益作物栽培

有限会社 黒澤農場（白山市）

水稲以外の主な園芸作物等



※ イラストはイメージ

園芸作物導入の経緯等

- ◆ 父親の代は水田で水稲、大麦、大豆をブロックローテーションで作付けしていたが、自分が就農した時に高収益作物の栽培を取り入れ、現在では水田と施設園芸及び露地野菜での複合経営を行っている。
- ◆ 経営規模は、水稲約60ha、大麦・大豆約7ha、施設園芸はビニールハウス約60棟（約2.2ha）で小松菜、水菜、ほうれん草、露地約6haでネギ、スイートコーン、キャベツを栽培。
- ◆ 主な労働力は、役員3名、正社員4名、パート従業員20名、外国人実習生4名。



ハウス内での黒澤社長



ビニールハウス群



小松菜の袋詰め作業



小松菜を県外高級スーパーへ出荷

これまでの課題に対する対応

- ◆ 消費者に最高品質の品物を自信を持って届けたいという思いから、自ら販売先を選択し、県外の高級スーパーとの長期契約を結んでいる。
- ◆ また、県内卸を通じて、学校給食向けの食材として小松菜を全て当農場産にする契約を結んでいる。
- ◆ 大豆栽培において単収250kg超えの土壤条件を整備する技術を生かし、野菜栽培における排水対策や酸度矯正の土づくりを実践。

今後の展望等

- ◆ 高品質野菜の生産に取り組み、「黒澤農場」ブランドを確立したい。
- ◆ 有機肥料に限りなくシフトチェンジしながら、農薬も減らしていくなどSDGsやみどり戦略を意識し、環境に優しい農業を目指していきたい。



露地の長ネギ栽培